

「平成30年度 学校評価実施報告書」

学校（園）名（ 鳴門市第一中学校 ）

学校（園）長名（ 石川 功 印 ）

1 平成30年度 重点評価項目

- | |
|--|
| 1 知・徳・体の調和のとれた生徒の育成 ①分かりやすい授業 ②心に響く人権教育 ③体力向上・安全教育 |
| 2 生徒の自己有用感を育てる 3 全教職員で取り組む生徒指導 |

2 アンケート評価

対 象	実施日（期間）
教職員	平成31年2月12日～22日
児童・生徒	平成30年12月7日～14日
保護者	平成30年12月7日～14日
地域・その他	

3 自己評価

評 価 日	平成31年3月20日・21日
評価者・組織（名称）	全教職員
プラスの評価	・教職員が重点目標を理解し、その実現に向けて努力している。・いじめの早期発見，早期対応に組織として取り組み解決を図っている。・生徒のよい面や言動を積極的に見つけ、肯定的な声かけができた。
マイナスの評価	・道徳人権教育を生徒の実態に応じて組織的に推進する必要がある。・地域の教育力を活用した教育活動が少ない。
改善方策・意見	・2年で実践したローテーション道徳を他学年にも拡大する。・部活動等において地域の外部指導者の充実を図る。
公表日・方法	平成31年3月28日～学校ホームページにて公開

4 学校関係者評価

評 価 日	平成31年3月11日
評価者・組織（名称）	学校関係者評価委員会（学校評議員5名とPTA会長）
プラスの評価	・バトンタッチ作戦は効果があるため今後も続けてほしい。・ボランティア部の活動は非常に評価が高い。
マイナスの評価	・不登校生徒の多さは大変気になる。地域の教育力を活用する教育活動を推進してはどうか。
改善方策・意見	・生徒一人一人との関わりの中で子どもの現状を見据えて対応してほしい。・効果的な取組は継続するべきである。
公表日・方法	平成31年3月28日～学校ホームページにて公開

5 総括・次年度の課題

学校教育目標や重点的な取組について、その実践方法やツールについて十分に共通理解を図り、とくに生徒指導面において成果を残すことができた。一方で、学び合いウィーク（相互授業観察）において観察時間数が減少傾向にあり、個々の教師力アップへの取組に課題が残った。また、昨年度に引き続き学習意欲や学力の格差は、拡大傾向にあり、個に応じた指導の手立ての充実のためには、さらなる授業改善と情報機器の活用等、組織的で系統的な取り組みをしていく必要がある。